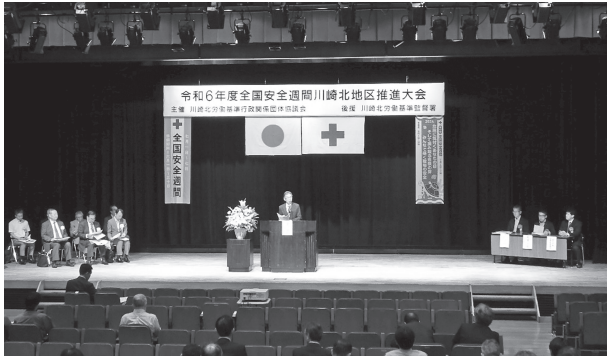


令和6年度 全国安全週間川崎北地区推進大会開催



第97回全国安全週間に先立ち「全国安全週間川崎北地区推進大会」が6月5日(水)午後1時より川崎市高津市民館大ホールにて122名が参加して開催されました。(主催=川崎北労働基準行政関係団体協議会、後援=川崎北労働基準監督署、川崎北公共職業安定所)

第一部では、一般社団法人川崎北工業会の五十嵐会長による開会の辞、川崎北労働基準行政関係団体協議会の山本会長の挨拶に続き、川崎北労働基準監督署の柴田署長が「第14次労働災害防止計画初年度の令和5年度の県内における死傷災害、死亡災害はともに前年比増となっている。全国安全週間を実りあるものにするには、安全文化の醸成が必要である。安全衛生管理体制の確立、効果的な安全衛生教育の実施、自主的な安全衛生活動とリスクアセスメントの実施を通じた安全衛生活動の推進に取り組んでいただきたい」。また、高橋高津区長が「市制100周年を迎える川崎市に匹敵する歴史を持つ安全週間の活動を、長年にわたり支えてきた関係者の尽力に敬意を表する。より一層の労働災害の減少、安全水準の向上を図るため、それぞれの職場における安全活動の継続を期待する」とそれぞれ挨拶されました。

安全優良表彰では、山本会長から表彰対象の有限会社建塗工業に対し、表彰状と記念品が授与されました。川崎北公共職業安定所の浅尾雇用指導官から、障害者の雇用制度と支援及び人材開発支援助成金についての説明、川崎北労働基準監督署安全衛生課の鈴木課長から、労働災害発生状況、令和6年度全国安全週間実施要項、第14次労働災害防止計画の概要などについての説明の後、共同組合高津工友会の山田理事長が本大会の大会宣言を声高らかに読み上げて第1部は終了しました。

第2部では、松葉労働衛生コンサルタント事務所の松葉代表を講師にお招きして「ヒューマンエラーによる労働災害の防止について」と題した特別講演を開催し、労働災害の発生状況、法的責任、発生のメカニズムなどを踏まえた転倒災害の防止や腰痛予防を中心とした対策を、具体的な手法を示してご説明いただきました。

最後に、一般社団法人川崎中原工場協会の小林会長が閉会の辞を述べて、本大会の幕を閉じました。



山本協議会長



川崎北労働基準監督署
柴田署長



高橋高津区長



川崎北労働基準監督署
鈴木安全衛生課長



特別講演 松葉氏

令和6年度「全国安全週間スローガン」

「危険に気付くあなたの目 そして摘み取る危険の芽 みんなで築く職場の安全」

令和6年度安全優良表彰事業場

◇有限会社建塗工業
(建設業労働災害防止神奈川支部川崎北分会 推薦)



有限会社建塗工業 今林靖晴 様

川崎北労働基準監督署からのお知らせ

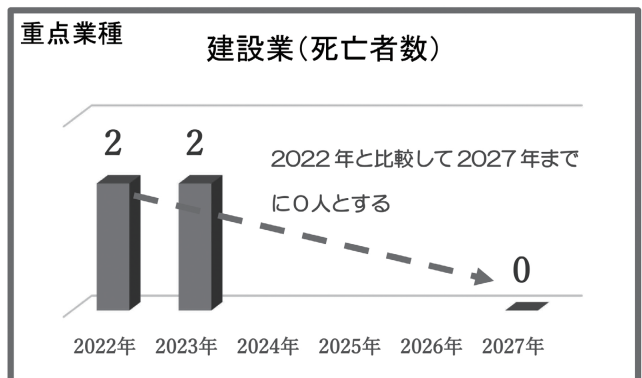
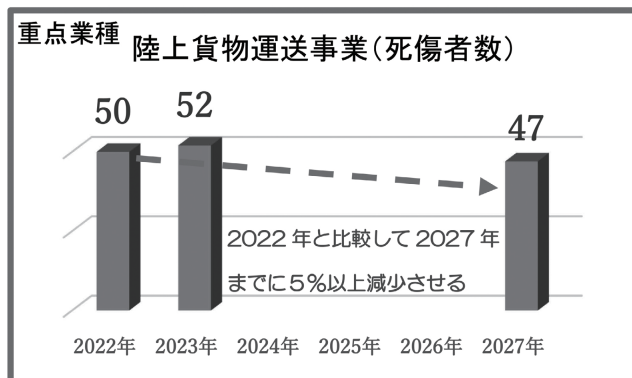
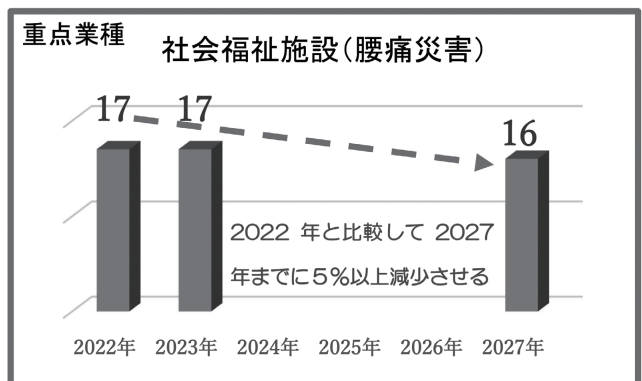
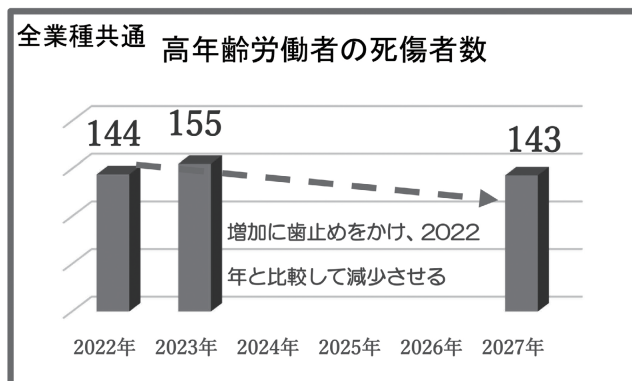
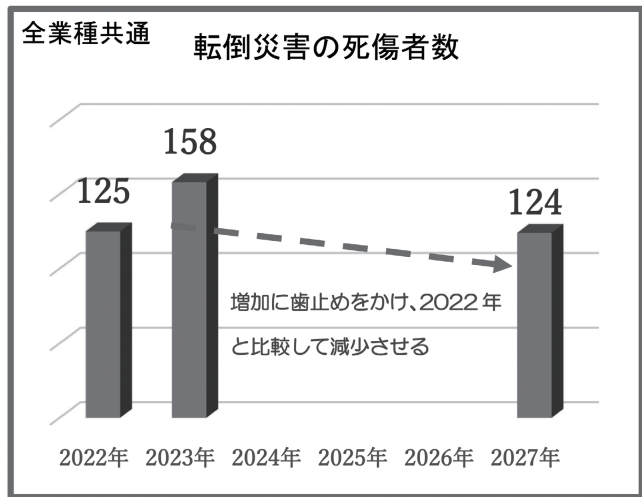
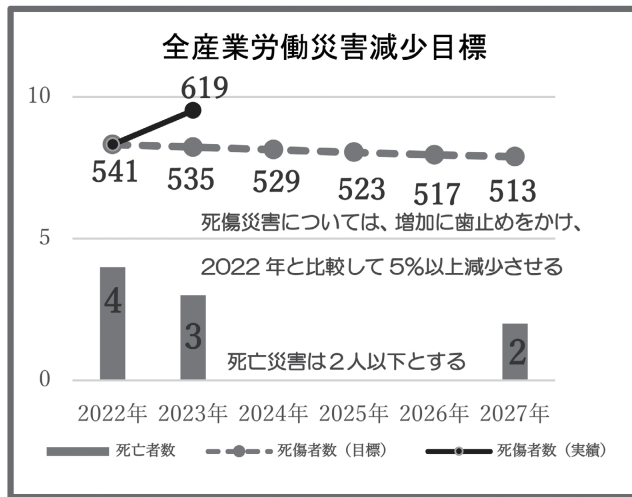
第14次労働災害防止計画の推進状況

2023年(令和5年)度から2027年(令和9年)度までの5年間を期間とする、「第14次労働災害防止計画(以下「14次防」という。)」が昨年度から始まっており、今年度は2年目となります。

14次防では、事業者が取り組むべき安全衛生対策とその実施率の目標値となる「アウトプット指標」、その指標を達成した結果として期待される成果を「アウトカム指標」として定め、これらに取り組むことにより、全体として労働災害を減少させる狙いがあります。

労働災害防止活動について、国・事業者・労働者等が一体となって取り組み、労働災害を少しでも減らし、誰もが安全で健康に働くことができる職場環境の実現を目指します。

川崎北労働基準監督署では、目標を達成するために各種労働災害防止活動を展開しており、初年度の実績は以下のとおりとなっております。事業者の皆様におかれましては、引き続き、各重点事項への取り組みをお願いいたします。



熱中症を防ごう

厚生労働省では労働災害防止団体などとともに「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」(期間：令和6年5月～9月)を実施しており、あらゆる機会に熱中症予防対策の周知を図っています。

神奈川労働局管内では、令和5年(2023年)の死傷者数は78人と、前年に比べ大幅に増加し、過去10年で最多となりました。また、死亡災害も2年続けて発生しています。

前日のチェック

- ☑ 仕事前日の飲酒は控えめに
- ☑ ぐっすり眠る
- ☑ 熱中症警戒アラート確認

仕事前のチェック

- ☑ よく眠れたか
- ☑ 食事をしたか
- ☑ 体調は良いか
- ☑ 二日酔いしていないか
- ☑ 熱中症警戒アラート確認

仕事中のチェック

- ☑ 単独作業を避け、声をかけ合う
- ☑ 監督者は現場パトロール
- ☑ 水分・塩分の補給
- ☑ こまめに休憩



詳しくはコチラ



☐ 異常時の措置

～少しでも異常を感じたら～

- ・ いったん作業を離れ、休憩する
- ・ 病院へ運ぶ、または救急車を呼ぶ
- ・ 病院へ運ぶまでは一人きりにしない



職場における熱中症予防

検索

安全管理者選任時講習

5月13日(月)・14日(火)にカルッツ川崎にて「安全管理者選任時講習」を川崎南支部との共催で開催し、39名の方が受講されました。

協会専任講師の飯岡利夫氏、西本典弘氏、相馬睦寛氏をお迎えし、安全管理者に選任されるために必須である講習を実施しました。

職場の安全を担保するための安全管理者の職務などについて、危険の感度を高めることを目的としたグループワークも交えながら、しっかり学習していただいた2日間となりました。



熱中症対策講習会

5月27日(月)にユニオンビルにて「熱中症対策講習会」を開催し、会員事業場より19名の方が受講されました。

川崎市中原消防署デイトム救急隊の喜熨斗千織課長補佐による「熱中症の応急処置について」の講演では、熱中症の応急処置についてわかりやすく説明をいただきました。神奈川産業保健総合支援センター労働衛生コンサルタントの村上稔医師には、「熱中症の予防について」と「熱中症のリスクアセスメント」の2つのテーマについて講演をいただき、特に、近年導入されているリスクアセスメントについては、熱中症対策に有効であると感じられました。川崎市健康福祉局健康増進担当 小林一江氏による「熱中症予防のための生活習慣のポイント」では、食生活においても熱中症対策が重要と改めて感じました。また、大塚製薬株式会社の芹澤

実氏からは、最新の熱中症対策グッズをご紹介いただきました。

本講習会を通じて、改めて熱中症対策は大きな課題であり、様々な観点から予防対策の実施が必要だと学ぶことができました。



〔支部行事案内〕

◎危険予知（KY）トレーナー養成講習会

（鶴見支部、川崎南支部、川崎北支部 共催）

日 時 令和6年7月8日（月） 10時00分～16時00分

場 所 カルッツかわさき

◎夏季講座

（本部主催）

日 時 令和6年7月26日（金） 13時00分～17時00分

場 所 万国橋会議センター

◎特定化学物質四アルキル鉛等作業主任者技能講習

（川崎南支部、鶴見支部、横浜北支部、横須賀支部、川崎北支部 共催）

日 時 令和6年8月7日（水）・8日（木）9時25分～17時45分

場 所 横浜西公会堂

◎化学物質管理者専門的講習（2日間）

（川崎南支部、鶴見支部、横浜北支部、横須賀支部、川崎北支部 共催）

日 時 令和6年8月28日（水）・29日（木） 9時25分～17時00分

場 所 カルッツかわさき

新規入会事業場(令和6年5月加入)

味の素AFMトレーディング株式会社

役員雑記帳

4月から広報部会の仕事に携わることになりました。今後ともよろしく願いいたします。

さて、みなさん、言葉の覚え間違いの経験はありますか？私は、愛知県の代表的な料理である「ひつまぶし」をずっと「ひまつぶし」と勘違いしていたことがあります。

20年以上前、テレビで鰻料理の「ひつまぶし」が紹介されていました。お櫃に盛ったごはんには鰻を乗せ、最初は「そのまま」、次に「薬味を添えて」、その後「出し茶漬け」として、最後に「好きな食べ方」で堪能する。テロップの言葉を見間違えただけでなく、その食べ方から時間に余裕があるときに、「ひま」を「つぶしながら」食べる料理だと思い込んだのでした。



ところが数年後、ふたたびテレビで「ひつまぶし」の映像が流れてきました。「お櫃にごはんと鰻を混ぜる」ので「ひつまぶし」という説明が流れ、そのとき初めて自分の勘違いに気づきました。

ちなみに写真「ひつまぶし」ではなく、先日家で食した「うな丼」です。この記事を書いていて、鰻が食べたくなり買いに走りました。

言葉や日付、曜日を間違えがちなため、広報部会での校正業務への不安もありますが、一字一句真剣にチェックし、誤りないように努めたいと思います。

（広報部会 園部 久美）